



神戸市職員のみなさま！
連日報道されているような神戸市政に
関わる「連の構造汚職」に対して、日々、
誠心誠意、献身的に勤務しておられる
みなさまにとっては、ほんとうに憔悴たる
思いであることと推察いたします。
こうした市長はじめ神戸市幹部の姿勢に
対して、多くの神戸市民が憤りを持って
抗議していることはみなさまも体感して
いることと存じます。
みなさま！ 現場での次のような声を
どのように受け止めますか？
「生懸命ゴミの分別をしてくれたのに、
こんなことになるなんて、はらわたが
煮え返るわ！」と。
今こそ内部からも声を止してこの問題に
対処するように声をあげてください。
私たちも、神戸市職員として、
堂々と胸を張って仕事ができることを
願ってやみません。

闇に蠢くは誰ぞ……。



矢田立郎市長さま、私たち神戸市民として
恥ずかしい。悲しい。情けない。汚らしい。腹立たしい。
責任をどうなさるのですか？

神戸市会議長
佐伯 育三様

2006年5月17日

神戸再生フォーラム

代表 河口 整
代表 柴田富士子
代表 田中 孝明
代表 田中 保三
代表 玉川 由香
代表 村井 雅清
事務局 高田 富三
事務局 角屋 洋光
事務局 久保 毅
事務局 武貞 直人
事務局 出口 俊一

「神戸市の構造汚職を問う」陳情書(そのI)

神戸市会議員・村岡功容疑者(元自由民主党)が汚職容疑で逮捕されて1月半近くが経ちました。4月28日の神戸市会本会議での辞職勧告決議がなされたにもかかわらず、依然議員辞職をしない村岡功容疑者への市民の憤りは日増しに高まってきています。

下記の通り、現時点での市民の思いや怒り、要求をまとめて、神戸市会に陳情致します。

一記一

神戸市会議員・村岡功容疑者(元自由民主党)は自ら、10を超える疑惑の全容を明らかにし、謝罪するとともに辞職すること。また、4月からの議員報酬は、返上すること。

村岡容疑者の意向を受け同様の行動をとって汚職に関与した市会議員は、すでに新聞報道で氏名が取り沙汰されているが、自ら名乗り出て謝罪すること。また同時に、政治的・道義的責任をとって辞職すること。

村岡容疑者が所属している自由民主党の政治的・道義的責任は重大である。自民党は「会派ぐるみの事件ととらえられることに憤りを感じる」と記者会見(5月15日)において述べているが、「憤りを感じて」いるのは多くの市民の方である。このような釈明は一般社会では通用するものではない。謝罪するとともに全容解明に全力を尽くすこと。

神戸市会は、地方自治法第100条に基づく調査権限を「政治倫理確立委員会」に付与し、自浄機能を発揮して全容解明に全力を尽くすこと。

村岡容疑者が辞職しない場合、神戸市会は、地方自治法第134条・135条に基づき村岡容疑者を除名すること。

神戸市会は、利権につながる「口利き」行為と、市民の負託を受けて行う正当な議員活動の区別を明確にすること。

以上

神戸再生フォーラム

〒650-0027/神戸市中央区中町通3-1-16 サンビル201号
TEL & FAX : 078-371-4595 Eメール : k-saisei@coral.plala.or.jp

神戸市会議長
佐伯 育三様

2006年5月17日

神戸再生フォーラム

代表 河口 整
代表 柴田富士子
代表 田中 孝明
代表 田中 保三
代表 玉川 由香
代表 村井 雅清
事務局 高田 富三
事務局 角屋 洋光
事務局 久保 毅
事務局 武貞 直人
事務局 出口 俊一

「神戸市の構造汚職を問う」陳情書(そのII)

神戸市会議員・村岡功容疑者(元自由民主党)が汚職容疑で逮捕されて1月半近くが経ちました。4月28日の神戸市会本会議での辞職勧告決議がなされたにもかかわらず、依然議員辞職をしていません。一方、矢田一郎市長は、今回の事件に関して4月13日の記者会見において、「(職員に)不正はない」「不当な事実はない。私自身も圧力を受けたことはない」と責任逃れの発言に終始しました。

また、村岡功容疑者にはあっせん取崩罪が成立しないかのように述べるなど、矢田市長の姿勢・態度は、大変苦しいと言わざるを得ません。そして、5月8日、矢田市長と2人の助役が神戸地検に参考人聴取されるという事態にまで発展してきています。村岡容疑者への市民の怒りはもとより、矢田市長のこのような姿勢・態度に多くの市民の怒りと憤りは、日増しに高まってきています。通常、市長の判断・了解なしに「要綱」の策定・改廃は、あり得ません。今回の廃棄物処理施設の設置・許可に関する「要綱」の改正や空港ターミナルの4階増設などは、すべて矢田市長の権限が行使されたものと考えるのが常識です。矢田市長は、村岡容疑者やすでに疑惑が取り沙汰されている与党議員、そして事業者と癒着し、一体的に神戸市政を歪め、腐敗を加速させてきたのです。これが矢田市政の掲げる「協働と参画」の内実ではないでしょうか。

矢田市長は、このような構造汚職・「神戸トライアングル」の中心なのです。そこで下記の通り、現時点での市民の思いや怒り、要求をまとめて、神戸市会に陳情致しますので、神戸市会において矢田市長の見解表明を求めます。

一記一

1. 矢田市長は、一連の疑惑の経緯を自ら明らかにすること。
2. 矢田市長と2人の助役は、神戸地検の参考人聴取に関して市民に報告すること。
3. 矢田市長は、今回の汚職事件の中で名前の上がった第3セクター名を公表し、それらの事業中止も視野に入れた措置をとること。
4. 矢田市長は、自らの支持母体の中心であり、市長選挙時の立役者であった村岡容疑者と連座して責任をとること。
5. 構造汚職・「神戸トライアングル」の中心である矢田市長は、政治的・道義的責任をとって辞職すること。
6. 矢田市長が自ら辞職しない場合、神戸市会は市長を不信任すること。

以上

神戸再生フォーラム

〒650-0027/神戸市中央区中町通3-1-16 サンビル201号
TEL & FAX : 078-371-4595 Eメール : k-saisei@coral.plala.or.jp